EVENT 01

「小樽北前船ストリート」スタンプラリー

北前船ストリートを巡ってスタンプを集めよう！ **対象店舗でお買い物またはお食事、入館でスタンプゲット！**

スタンプを2つ集めた方**先着200名様**に、北前船で小樽へ運ばれた**お菓子「コーヒー糖」**と**抽選賞品の応募用紙**をプレゼント。

SAMPLE 北前船ストリートツアー参加	小樽北勝庵	小樽芸術村	おたる瑠璃工房運河店 おたる瑠璃工房
利尻屋みのや 不老館	くぼ家	スーベニールオタルカン	小樽オルゴール堂本館

プレゼント引換方法

スタンプを2つ以上集めたら、運河プラザ観光案内所または堺町通り商店街観光案内所にお持ちください。スタッフがコーヒー糖と応募用紙をお渡しします。

※小樽芸術村は似鳥美術館、ステンドグラス美術館、旧三井銀行小樽支店、ミュージアムカフェの4ヶ所が対象。 ※一度のお会計で掲示できる北前船手形は一枚までです。ただし、ご飲食の方はご飲食された人数分の手形を提示して頂ければ人数分押印します。 ※スタンプは会計時に北前船手形を掲示した際に押印します。 ※コーヒー糖のプレゼントは商品が無くなり次第終了となります。 ※北前船手形の割引と他割引・他サービスとの併用は不可です。

抽選賞品 ～スタンプを2つ以上集めて抽選用紙を手に入れて抽選に応募しよう！～

小樽オルゴール堂
九谷焼オルゴール
1名様

大正硝子
九谷和ワイングラスペアセット
1名様

利尻屋みのや
昆布製品詰め合わせ
5名様

北海道ワイン
北前ヤマソーヴィニヨン
5名様 ※未成年者を除く

UNGA↑
海づくしギフトボックス
1名様

UNGA↑
小樽瓦焼きバウム
5名様

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。 ※写真はイメージです。

お得な情報 ～北前船手形を掲示で割引に！～

小樽北勝庵 火曜定休
●11時00分～15時00分
●17時00分～20時30分
小樽のにしんそば【温】
890円▶**590円**

くぼ家 月曜定休
10時00分～19時00分
coffee全品
100円引き

※期間中は何度でも使用可能
※北前船手形一枚につき1名様限り有効

EVENT 02 2019年3月24日（日）13:00～14:00

北前船ストリートツアー

主に小学4、5、6年生を対象とした親子で楽しめる、「おたる案内人」ボランティアガイドの会による北前船ストリートツアーです。詳細は「日本遺産による小樽の活性化」チームのFacebookをご確認ください。

EVENT 02 2019年3月21日（木）～3月31日（日）

北前船ストリート展示

運河プラザにて北前船ストリートの歴史的建造物についてのパネル展示を開催します。
【展示時間】9:00～18:00

Facebook Instagram

主　　催：国立大学法人小樽商科大学本気プロ「日本遺産による小樽の活性化」チーム
お問い合わせ：oucmaji.abjht@gmail.com

北前船手形

北前船頭の証「北前船手形」を持って小樽北前船ストリートを巡ろう

かつての北前船頭にとってのパスポート船往来手形をアップデート！
期間限定で小樽にて発行！

小樽北前船ストリートスタンプラリー

3/21 thu.～3/31 sun.

小樽北前船ストリート

OTARU KITAMAEBUNE STREET

北前船とは江戸中期から明治期にかけて関西方面と北海道間を往来していた商船群のことであり、物資だけではなく人や文化を運び小樽の発展に大きく関わってきました。平成30年、小樽市は日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定されました。「小樽北前船ストリート」とは、北前船日本遺産構成文化財の旧魁陽亭、旧小樽倉庫、旧大家倉庫、北運河3倉庫を結ぶエリアで、その間には、北前船主や本州各地の寄港地ゆかりの商店や銀行、その後の日本海海運関連の建物など、魅力的な歴史的建造物がたくさんあります。

●「小樽北前船ストリート」では、①北前船日本遺産構成文化財、②北前船主ゆかりの建物、③本州各地の寄港地ゆかりの商店や銀行、その後の日本海海運関連の建物、の3タイプの歴史的建造物を紹介しています。

1 明治24、36、22、27年築

旧大家倉庫、旧増田倉庫、旧広海倉庫、旧右近倉庫

旧北浜地区には北陸の北前船主の倉庫群が残る。旧大家倉庫、旧増田倉庫、旧広海倉庫は加賀（現石川県加賀市）、旧右近倉庫は福井（現福井県南越前町河野）の北前船主が建てた。北前船日本遺産構成文化財。

2 明治39（1906）年築

旧日本郵船株式会社小樽支店

海外貿易を進めるため明治18年に設立された日本郵船の小樽支店。日本郵船を始め大手資本の海運業への進出、鉄道などの発達により北前船は次第に姿を消していった。近世ヨーロッパ復興様式の石造2階建て建築。

3 明治23-27（1890-94）年築

旧小樽倉庫（小樽市総合博物館運河館他）

加賀の北前船主・西谷庄八と西出孫左衛門らが建てた倉庫。北海道の営業倉庫第1号。中央の事務所の両側にロの字型に倉庫が設置。瓦屋根には鯱が8つ設置。創建時は若狭瓦を使用。北前船日本遺産構成文化財。

4 昭和8（1933）年築

旧小樽商工会議所

小樽経済界の拠点、小樽商工会議所だった建物。前身の小樽商業会議所の創設には北前船主・西谷庄八をはじめ海運関係者が多数関わった。外装には石川県産千歳石で彫刻が施されている。設計は市庁舎も手がけた土肥秀二。

5 昭和10（1935）年築

小樽芸術村ミュージアムカフェ（旧荒田商会）

福井出身で、海運業等を営んだ荒田商会の本店事務所だった建物。荒田太吉は小樽経済専門学校の大学昇格支援、福井震災後、故郷丸岡を支援する等、社会貢献に務めた。左右対称の外観、白枠に囲まれた茶色の壁面が特徴。

6 明治28（1895）年頃築

おたる瑠璃工房運河店（旧金子元三郎商店）

新潟出身で、海運業、海陸物産などを営み、初代小樽区長もつとめた金子元三郎商店の建物。加賀の北前船主・増田又右衛門の取引先であったことで知られる。建物両袖のうだつが特徴的。

7 明治40（1907）年築

くほ家（旧久保商店）

福井出身の久保与三五郎が小樽で開業した雑貨卸問屋、久保商店の建物。建物正面の立岩通りの先には、かつて北前船が小樽へ入港する際の目印にもなった立岩があった。

8 明治44（1911）年以前築

おたる瑠璃工房（旧広海二三郎商店）

加賀の北前船主・広海二三郎家の小樽支店だった建物。北運河エリアには旧広海倉庫がある。広海二三郎は、同郷の北前船主で弟の大家七平と共に住吉神社の第一鳥居を奉納している。

9 大正15（1926）年築

スーベニールオタルカン（旧戸出物産小樽支店）

富山で繊維業、呉服問屋を営む戸出物産の小樽支店だった建物。左右非対称の外観が特徴で、壁面に「戸出」の印が残る。奥の大正9年築のレンガ造倉庫と内部でつながっている。

10 大正13（1924）年築

銀の鐘1号館（旧中越銀行小樽支店）

富山に本店があった中越銀行小樽支店の建物。中越銀行は、北陸の北前船主たちが中心となって創設され、北海道への移住者を積極的に支援した北陸銀行の前身の一つ。2階窓列の雷文、褐色のタイルなどが特徴的。

11 大正4（1915）年築

小樽オルゴール堂本館（旧共成株式会社）

富山出身の沼田喜三郎が各地から北前船で運ばれていた米の精米業に着目し、小樽で創業した共成株式会社の建物。石造が多い小樽では珍しく内部が木材で組まれ、外面をレンガ積みにした木骨レンガ造。

12 明治29（1896）年築

旧魁陽亭

北前船の船主や商人たちが利用した北海道最古の料亭。伊藤博文や石原裕次郎ら政財界、文化人たちが訪れていた。2階大広間「明石」では明治39（1906）年、「日露国境劃定会議」後の宴会が開催。北前船日本遺産構成文化財。